

株式会社日本色材工業研究所 行動計画

女性の管理職を増やすとともに、男女ともに長く活躍できる雇用環境の整備を行う為、次の様に行動計画を策定する。

1. 当社の課題

採用する女性労働者の割合は高いが、女性労働者の平均継続勤続年数が化学工業平均値（13.3年）より短く、正社員のみで比較すると男性労働者の8割を下回っている。

また、管理職の女性割合が化学工業平均値（6.6%）よりは高いものの、厚生労働省が提示している目標（30%）より低い状況が続いている。

2. 目標

女性の平均勤続年数を男性の8割以上にする。

管理職に占める女性の割合を15%以上にする。

3. 計画期間

令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）

4. 取組内容と実施時期

(1) 勤務体系や諸制度の改善

従業員の継続就業に繋がる働きやすい職場環境づくりを推進するために、全従業員に対してアンケートを行い、従業員の満足度の他、課題やニーズを把握し、雇用環境改善に生かす。

実施時期：令和3年9月～

(2) 管理職準備研修の実施

女性のキャリアアップと管理職候補を育成するために、研修を通じてサブリーダーとして後輩への教育や周囲を巻き込む力を習得するとともに、管理職の仕事内容への理解やキャリアパスを描くことをサポートする。

実施時期：令和4年4月～

(3) 男性の育児参加の推進

男性の育休取得や育児への積極的な参画を推進することで、男性の意識改革、職場風土の改善を通じて関する男女ともに働きやすい職場環境作りに取り組む。

実施時期：令和4年4月～

(4) 人事評価制度の見直し

評価期間や運用方法の問題点を洗い出し、現制度への反映を行い、より公平な評価を目指す。また一人一人の実績やスキルを把握することで、効果的な人員配置・定着率向上に繋げる。

実施時期：令和3年4月～

株式会社日本色材工業研究所 女性の活躍に関する情報

項目	当社の状況（令和2年度実績）
採用した労働者に占める女性労働者の割合	正社員 65.6%、契約社員 94.4%
女性労働者の平均勤続年数	正社員 7.1年、契約社員 10.4年
男性労働者に対する女性労働者の平均勤続年数の割合	正社員 71.1%、契約社員 146.3%
女性の育児休業取得率・復帰率	100%